

# 新宮ライオンズクラブ 献血活動



## 感染防止対策徹底で実施

献血を終えた人に感謝を伝え品物を渡す

新宮ライオンズクラブ (L.C) 事業委員会献血奉仕団と和歌山赤十字血液センターによる献血活動が4日、新宮市役所別館の駐車場であった。午前と午後の2回、善意による献血の提供を呼び掛け、多くの方が協力した。コロナ禍により、検温や人的距離を確保するなど感染防止対策を徹底して行われた。協力者は駐車場に設置

# 過去最多 122人協力

されたテント内で問診などの受付を済ませ、バス車内に乗り込み、医師と看護師のチェックを受

け、採血に進んだ。委員が、献血を終えた人に感謝を伝え、ボックスティッシュを手渡した。新宮L.Cの濱優治幹事は、「今回、122人の人が協力してくださった。新宮L.Cの献血活動の中では過去最多となる。皆さまの熱心な御礼を申し上げます。一

人一人の協力が地域医療を支え、この困難な時代を乗り越える原動力となる。今後とも協力よろしくお願ひします」と思いを語った。紀宝町福殿から献血に訪れた浜田新一さん(66)は「一年に3回は必ず献血に協力している。輸血を必要とする多くの

人に役立てばとの思い。血液検査もしてくれるので、健康管理にもなる。今回で87回。100回までは協力したい」と力を込めていた。日本赤十字社は、「血液は長期保存することができず、医療機関に安定的に血液を供給するためには、輸血用の血液を十分に確保する必要がある。今後の安定供給のためにも、特に若い世代の献血へのご理解とご協力が不可欠」と呼び掛けている。(茂村振五)



令和2年(2020年)

12月6日

日曜日

先勝



発行所 紀南新聞社  
〒647-0043 和歌山県新宮市緑ヶ丘2丁目1番33号  
購読に関するお問い合わせ TEL0735-22-4646



採血の様子